

秋夕(チュソク)期間アフリカ豚コレラと口蹄疫予防のため養豚農場一斉消毒

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbwWFmcmEIMkY2OCUyRjMyMTI1OCUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIIM0QIMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cGFzc3dvcmQIM0QIMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJTI2cGFnZSUzRDEIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnJvdjUzRDEwJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

(以下、機械翻訳などによる仮訳)

摘要

秋夕(チュソク:韓国の祝日)期間中、人の移動の活発化に対応し、全国の養豚農場や施設等の一斉清掃・消毒および韓国へ帰国する者を対象とした広報を推進する。

*秋夕連休期間、海外旅行等で人が活発に移動することにより、アフリカ豚コレラ(ASF)、口蹄疫(FMD)の韓国への侵入リスクが高まるため、特別な予防措置が必要となる。

○養豚農場一斉清掃・消毒キャンペーン:全国すべての養豚農場やと畜場など養豚関連畜産施設および車両の一斉清掃・消毒を実施する。

- 消毒対象:全国の養豚農場(6,300戸)、関連施設、畜産車両
- 消毒日付:秋夕前 9.10(火) 秋夕後、9.17(火)
- 消毒方法:地方自治体保有の消毒車両、農家保有の備品などを使用し、農場の敷地内外を消毒する。と畜場などの畜産施設は、各施設が保有する消毒装備で車両等の消毒を実施。
- 消毒検査:養豚農場を担当官が消毒状況を点検し、と畜場はと畜検査官が消毒状況を確認。

○広報キャンペーン:主要空港、KTX(韓国高速鉄道)、ターミナルなど主な交通機関で帰省客などを対象に民官合同*で防疫規則遵守に関する広報活動を実施する。

* 農林畜産検疫本部、家畜衛生防疫支援本部、農畜協、韓豚(ハンドン)協会

-放送、垂れ幕設置、リーフレット、貼紙等を通して帰国者、畜産関係者等を対象に広報する。

□農林畜産食品部(長官:キム・ヒョンス、以下農食品部)は、秋夕連休期間中、海外旅行者や帰省客の移動の増加に伴い、ASFやFMDなど家畜伝染病が農場内に侵入するリスクが高まると判断した。

○秋夕期間中、養豚農場や畜産施設等に対する一斉消毒を実施し、帰省客などを対象に特別広報キャンペーンを実施する。

□秋夕連休開始前の9/10(火)、連休後9/17(火)に全国の養豚農場、と畜場等畜産施設、畜産車両の一斉清掃・消毒を実施する。

○9/10(火)、9/17(火)は、全国の食品残渣給餌農場、FMDワクチン抗体陽性率の低い農場、密集飼育型農場などに対しては地方自治体保有の消毒車両、農家保有の備品など活用し、消毒を実施する。

-また、市や郡は必要に応じ、管轄軍部隊の協力を受けて軍所有の車両も導入し、主要な道路を消毒する計画を立てている。

○農場の消毒状況の確認のため、養豚農場別に指名した担当官*を派遣し、消毒状況を点検する。と畜場はと畜検査官を通じて消毒状況を管理・監督する。

* 農場別に指定された農食品部(農林畜産検疫本部、防疫支援本部)、地方自治体で構成された担当官
-全国養豚農場、畜産施設、車両運転者全員が今回のキャンペーンに参加するよう、国家動物防疫統合システム(KAHIS)を通じた畜産関係者への広報、ホームページでの掲示等で呼び掛ける。